F2-61

江戸における花見空間の構成と継承状況に関する研究
—(その 2)花見描写より捉えた空間整備について—

Study on Composition and Succession of The Flower viewing Space in Edo Era
—(Part2)Ideal way of space maintenance by depiction of flower viewing—

○西澤真依子[1]，横内憲久[2]，岡田智秀[2]，押田佳子[2]，尾形穂乃花[1]，柴田藍理[1]
* Maiko Nishizawa[1],Norihisa Yokouchi[2],Tomohide Okada[2],Keiko Oshida[2],Honoka Ogata[1],Airi Shibata[1]

Abstract: In this study, we investigated the flower viewing space in Edo by depiction from Ezu. As a result, we cleared that public appreciated with various flowers with their favorite style.

１．背景および目的—前稿(その 1)では，江戸における花見名所の変容に着目し，現代の花見空間の継承状況と，今後の展開の方向性を考察した．本稿では，当時の花見文化や花見空間の使われ方を，絵図中に表された「花見描写」より捉え，分析することで，現代の都心における花見空間整備について提案することを目的とする．

２．研究方法—本研究の調査概要を Table1 に，江戸の花見名所の花見描写を分析した結果を，Table2 に示す．

３．結果及び考察

３—１．花見描写—前稿より捉えた花見名所全96 件のうち，絵図で花見描写がみられたものは，42 件 55 図であった．文献ごとの傾向をみると，『名所江戸百景(以下百景)』[1]が最多で 25 図，『江戸名所図会(以下図会)』[2]が 21 図，『江戸名所花暦(以下花暦)』[3]が 9 図であった．以降は，図数に着目する．

３—２．花の種類—Table2 より，花の種数に着目すると，全 11 種確認され，前稿で確認された 21 種の約半分に減っていた．種ごとの傾向をみると，桜が全 55 図中 35 図でみられ，百景においては 18 図と特徴的に多い傾向を捉えた．次いで梅が 9 図，藤と草木の花が 5 図であったことから，樹齢が長い花木が多い傾向を捉えた．また，全 55 図中 41 図において植物は群として描かれ，単木は13 図であった(不明，重複を含む)．このため，花見の場としては，同じ種が一面に広がる空間が多かったと分かる．

３—３．花見の場—Table2 より，筆者の視線に着目すると，遠景が全55 図中29 図，中近景が 28 図であった．遠景には，花木が群で描かれているものが，29 図中 25 図と大半を占めており，花の種類でみられた傾向を反映しているといえる．また，花見の場に着目すると，屋外で花見を楽しむ様子が全 55 図みられたのに対し，屋内は 18 図(全て重複)であることより，当時の花見は，現代同様に屋外で楽しむものであり，一部，茶屋等の屋内で愛でられていたことが分かる．

Table1 Outline of the survey (研究方法)　(This is original table by authors)

①花見描写の抽出 (2016 年 8 月 3 日～9 月 30 日) [1]~[3]
文献調査：『江戸名所百景』『江戸名所図会』『江戸名所花暦』のうち前稿(その 1)で抽出された花見名所全 96 件における花見描写ののうち花見の絵が掲載されたものを抽出した．
②花見描写の分析 (2016 年 8 月 3 日～9 月 30 日) [1]~[3]
①で抽出した絵画 55 件について，「花の種類」「花見の場」「視線」「花見客の行動」に着目し，分析した．

３—４．視線—Table2 より，花見客の視線に着目すると，高いところから俯瞰して花見をするものは，全 55 図中 10 図と少なく，反対に，花を見上げる仰瞰は「(55)隅田川の堤」や「(84)飛鳥山」など 49 図と，大多数を占めており，群の花木を楽しむ様は現代同様であった．また，この多くは，群の花木を大勢が愛でているものであり，花を見上げることが主であることが分かる．

３—５．花見客の行動—Table2 より，花見客の行動に着目すると，屋外では，立っている，または歩いているものが全 55 図中 93 図(重複を含む)と最多であり，次いで，座っているものは全 55 図中 38 図みられた．そのうち，椅子に座っているものが 17 図，御座に座っているものは 9 図であり，この他にも，屋内外問わず食事をしながら花見をするものは11 図みられた．また，抽水植物である蓮については，船に乗って花の近くまで行き，愛でていた． このことより，花見客は，花とあまり離れない距離にいることが規定されると窺える．

４．小結—江戸時代の花見描写より，当時の花見名所では，一面に同じ種の花木が広がるような場に，人が集まっていたことを捉えた．花見客は，花との距離に規定されるため，花見の場において多様な賑わい空間を創出するには，花木以外の種を一面に配植し，花見客を近くまでアプローチする園路や船などの整備に加え，高低差があるような立地では，俯瞰で愛でられるようにするなどの工夫で，広大な敷地の確保が難しい，現代の都市空間においても，花見の場を創出できる可能性があるといえる．

５．まとめ—江戸の花見空間を調査した結果，かつて江戸のいたるところでみられた花見名所の多くは，近代の都市化の進展に伴い，喪失されていることを確認した．また，花見描写より捉えられた，花見の場の楽しみ方についても，花木の下で，花を見上げながら銘々に過ごすといった，現代の花見様式と同様のものが多数を占めていた．このことより，江戸時代の時点で大衆が集い，花を愛でるような花見の場は，

1：日大理工・学部・まち　2：日大理工・教員・まち

境内地や近代の公園地などの大規模空地として継承されやすく，単木や名木といった，大人数には向かないものや，草木のように対象の植物自体が長持ちしにくいもの，あるいは，生育地が開発しやすいものはほとんど継承されていないといえる．かつての江戸は，世界に誇る園芸都市といわれ，花を植栽する技術も，それを愛でる人々の目も秀でていたと思われるが，近代化に伴う大衆派に寄った画一化により，それらが衰えたばかりでなく，人々が花を愛で，楽しむ行為そのものの衰退を引き起こしたと考えられる．現在，かつての花見名所の名残を地域に残す試みが，一部でなされているが，此の際に，画一的な「通りすがることが出来る」植栽ではなく，立ち止まり，花を愛でることができるような空間整備が必要といえ，小規模な空地であっても，様々な種を用いたり，高低差を活用した愛で方が出来るよう工夫することで，ミクロスケールにおける花見の場を，提供することができるといえよう．

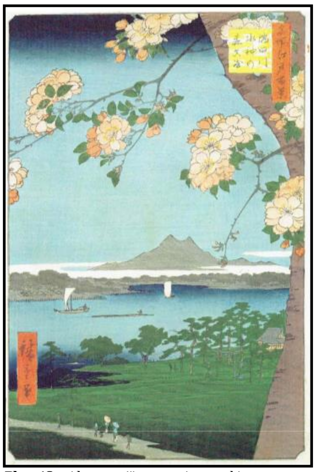

Photo1 Sumidagawasuijin-no-morimatsusaki（隅田川水神の森真崎）[1]

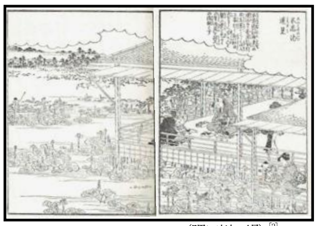

Photo2 Sumidagawa-no-tsutsumi（隅田川の堤）[3]

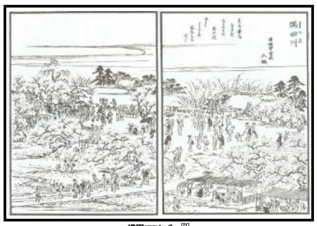

Photo3 Sumidagawa（隅田川）[2]

６．参考文献

[1] 堀晃明, 江戸切絵図で歩く広重の大江戸名所散歩, 人文社, 1996
[2] 鈴木棠三, 朝倉治彦, 新版江戸名所図会, 上巻～下巻, 角川書店, 1975
[3] 今井金吾, 江戸名所花暦, 八坂書房, 1994

Table2 Result of analysis by depiction of Hanami（花見描写の分析結果）[1]～[3]

(This is original table by authors)

花見名所(件)	文献	花の種類											花木の数		花見の場		描写		視線		花見客の行動							花見客の数(人)
		桜	梅	椿	桃	牡丹	藤	蓮	萩	草木の花	合歓の木	菖蒲	単	群	屋内	屋外	遠	中近	見上げる	見下げる	立つ	歩く	座る 地面	座る 椅子	座る 床	食事	その他	
(2)於玉が池	図会	○											○			○		○	○			○	○			○		1
(10)梅か茶屋，宇米茶屋	図会		○										○		○	○		○	○		○			○		○	○	15
(15)市ヶ谷八幡	百景	○												○	○	○	○		○		○	○		○				30
(16)右衛門桜(医光山円照寺)	図会	○											○			○		○	○		○							3
(18)七面大明神社	図会	○												○		○	○		○		○	○						4
(20)高田七面堂	図会	○											○		○	○		○	○		○	○			○			8
(21)高田天満宮	図会	○											○			○	○		○		○	○						4
(22)玉川堤の花	百景	○												○		○		○	○		○	○						31
(25)神齢山護国寺	図会									○				○		○	○		○		○	○	○	○				200
(28)澤蔵主稲荷神社	図会	○												○		○	○		○		○	○	○					56
(30)せき口上水端はせを庵椿やま	百景			○										○		○	○		○		○	○						2
(31)千駄木団子坂花屋敷	百景	○												○		○	○		○		○	○		○				19
(37)湯島天満宮	図会		○											○		○	○		○		○	○		○				30
(39)綾瀬川鐘か淵	百景									○				○		○		○		○							○	1
	花暦									○	○			○		○		○	○	○							○	3
(40)上野清水堂不忍ノ池,不忍池	百景	○												○	○	○	○	○		○	○	○						26
	図会							○						○	○	○	○	○		○		○			○	○		6
	花暦	○	○					○						○	○	○	○		○		○	○		○		○		35
(43)廓中東雲，新吉原	百景	○												○		○		○	○		○	○						6
	図会	○												○	○	○		○	○	○	○	○			○	○		62
	花暦	○												○	○	○		○	○	○	○	○			○	○		42
(48)東叡山寛永寺,東叡山	図会	○					○							○	○	○	○		○		○	○			○			80
	花暦	○											○	○		○	○		○		○	○						30
(50)根岸圓光寺,円光寺	図会						○							○	○	○		○	○		○	○		○	○		○	18
(51)吾妻橋金龍山遠望	百景	○												○		○		○	○		○	○			○		○	1
(52)請地秋葉の境内	百景								○				○		○	○		○	○		○	○			○			5
(53)木母寺内川御前栽畑,梅柳 木母寺,梅柳山墨田院木母寺	百景	○											○			○		○	○		○	○					○	2
(55)隅田川水神の森真崎,隅田 川の堤,墨田河の堤	百景	○											○			○	○		○		○	○						0
	図会	○			○									○		○		○	○		○	○						56
	花暦	○												○	○	○		○	○							○		119
(57)百花園(花屋敷)	花暦		○			○				○			○			○		○	○		○	○			○			8
(60)亀戸梅屋舗,臥竜梅,梅屋敷	百景		○											○		○		○	○					○				35
	図会		○											○	○	○		○	○		○			○		○		12
(61)亀戸天神境内, 亀戸天満宮境内	百景						○							○		○	○		○		○		○					12
	図会		○				○							○		○	○		○		○	○						70
	花暦		○				○							○	○	○		○	○		○	○			○	○		30
(63)神明宮(泉養寺),泉養寺の池	図会					○		○								○		○		○	○		○					2
(64)砂むら元八まん，富岡八幡宮	百景	○												○		○	○		○		○	○						2
(65)深川八まん山ひらき	百景	○				○							○			○	○		○	○	○	○						28
(67)海賞山来福寺	図会	○												○		○	○		○		○	○	○					90
(69)品川御殿やま,御殿山	百景	○												○		○	○		○		○	○						26
(73)目黒新富士	百景	○												○		○	○		○	○	○	○		○				9
(74)目黒千代か池	百景	○												○		○	○		○		○	○		○		○		17
(75)目黒元不二	百景	○												○		○	○		○		○	○		○				8
(76)蒲田の梅園、蒲田の梅, 蒲田和中散,梅木堂和中散	百景		○											○	○	○		○	○		○			○				17
(81)桃園，桃園観音堂	図会				○								○			○		○	○		○		○		○		○	10
(84)飛鳥山北の眺望,飛鳥山	百景	○												○		○	○		○		○	○	○					25
	図会	○												○	○	○	○		○		○	○		○				80
	花暦	○												○	○	○		○	○		○	○	○		○	○	○	50
(86)王子音無川	百景	○												○		○	○		○		○	○						7
(89)日暮里諏訪の台	百景	○												○		○		○	○		○	○		○				19
(90)日暮里寺院の林泉	百景	○											○			○	○		○		○	○						22
(91)日暮里の里,日暮里	図会	○								○				○		○	○		○		○	○		○				300
(94)木下川薬師の池	花暦					○								○	○	○	○			○	○	○		○				40
(95)堀切の花菖蒲	百景											○		○		○		○		○	○	○						6
合計 42(55図)	ー	35	9	1	2	4	5	3	1	5	1	1	13	26	18	55	29	28	49	10	49	44	9	17	12	11	8	ー

【凡例】表中の○該当を示すもの．花見名所の()内の数字前稿(その1)のTable2 と対応する．※ーは該当なしおよび記載なしを示す.※※合計は重複を含むものとする.※※※花見客の行動の「その他」については船に乗っている様子や踊っている様子,毬をついている様子などとする.